



TKK 共通シラバス

1. 科目名	地域減災論 I				
2. 教員名	梶原 洋	3. 担当大学	東北福祉大学		
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	前期集中	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>地震国日本では地震・津波の「減災」が国家戦略的課題となっている。2011年3月11日に発生した東日本大震災では、東北の太平洋沿岸部に津波による甚大な被害をもたらし、緊急支援から復興までの新たな課題を露呈した。</p> <p>そして、これまで何度となく防災対策の重要性が叫ばれながら災害発生から時間が経つと、市民の防災意識が低下しがちであった。平時の地域システムとして「減災・予防」の定着を図ることこそ、災害による生命・生活・財産の被害を軽減することであり、何より重要である。いま、「自らの生命は自らが守る（自助力）、地域の安全は地域で守る（共助力）」という姿勢のもと地域での取組の構築や実践力ある人材育成が求められている。本講義では、それぞれのフィールドで活躍する実践者等から「自助力」・「共助力」を高めるための取組についての現状と課題、今後の展望や可能性などについて多面的に学んでいく。</p>					
8. 授業のキーワード（神）					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
主題ごとの専門家によるオムニバス形式の授業を展開する。					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）					
レジュメを準備する。					
11. 授業時間外に必要な学修（神）、事前・事後に受講してほしい講義等（東）					
【事前に受講してほしい講義等】					
ボランティア論、ボランティア活動論、福祉ボランティア活動 I					
【事後に受講してほしい講義等】					
地域減災論 II、災害福祉論、ボランティア論、ボランティア活動論、福祉ボランティア活動 II・III・IV					
12. 提出課題など（神）					
講義時に指示する。					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
評価はレポート試験(70%)・授業態度(30%)とする。					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					
<p>新聞、テレビ等の地域減災活動の動向に関心を持ちそれについて考えてみる。</p> <p>より実践力を身につけるために「減災・予防福祉演習」・「福祉ボランティア活動 I・II・III・</p>					

IV」を履修してほしい。また、3分の2以上の出席がない場合は、試験を受けることができないとともに（欠格条件）、20分以上の遅刻は欠席とみなします

15. 参考（オフィスアワー（工）等）

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	オリエンテーション～防災から減災へ～	地域減災活動とは何かを述べる
第2回	近年の自然災害に学ぶ①	歴史から学ぶ歴史の観点から自然災害について述べる①
第3回	近年の自然災害に学ぶ②	歴史の観点から自然災害について述べる②
第4回	防災・減災「福住町方式」から学ぶ 地域支え合い活動	「福住町方式」の取り組みについて述べる
第5回	災害と情報	災害情報の活用方法について述べる
第6回	地震のしくみと被害	地震発生の仕組みと事前・事後対応について述べる
第7回	津波のしくみと被害	津波発生の仕組みと今後の課題について述べる
第8回	避難と避難行動	避難体制に関する仕組みと課題について述べる
第9回	身近でできる防災対策	身近でできる防災対策について述べる
第10回	被害想定；ハザードマップ	被害想定とハザードマップの活用方法と課題について述べる
第11回	災害時要援護者支援	災害時要援護者の実情と課題について述べる
第12回	災害医療「心のケア」	災害ソーシャルワークの取り組みについて述べる
第13回	行政の平常時対策	行政の視点から自助・共助の必要について述べる
第14回	災害ボランティアの現状と課題	災害ボランティアの現状と課題について述べる
第15回	地域減災と社会貢献	地域減災と社会貢献における現状と課

	題について述べる
--	----------

【コンピテンシー】 ※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

(下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。
期待度が高いほうが5、低いほうが1です。)

コンピテンシー	ポイント
マインド的コンピテンシー	3
成果を挙げるためのコアコンピテンシー	3
受容的コンピテンシー	3
応用的コンピテンシー	4
対人・集团的コンピテンシー	4

コメント